

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28 年 11 月 7 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100348		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム 花咲楼		
所在地	〒732-0046 広島市東区尾長東2丁目6番34号 (電話) 082-568-7007		
自己評価作成日	平成28年9月17日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100348-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100348-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年10月4日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ご利用者一人ひとりが個性を活かして豊かな生活を送れるように、スタッフ自身もそれぞれの個性を活かして頑張っています。頻繁に声掛けを行い、精神面・体調面の変化を敏感につかみ取れるように努力しています。そして何より、ご利用者やスタッフの笑顔が絶えない雰囲気作りを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

このホームでは、利用者と職員が笑顔で過ごせるようにしたいと考え、利用者の個性を重視した生活が出来るように、職員はそれぞれの個性を生かして利用者を支援している。利用者の要望を反映した買い物・外食・野球観戦の個別外出、施設内での利用者と一緒にレクリエーションの充実に取り組んでいる。今年度から、ユニット毎の年間介護理念を作成し取り組んでいる。年間介護理念は、利用者に対する支援目標を明確にし、職員は、利用者が安心できるような言葉かけや利用者に寄り添うことで、恐怖感をなくすことを実践している。また、職員は効率よく業務が行なえるよう連絡を取り合い、協力して仕事に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	事業所の理念「相手本位の心」に加えて、年度初めに本年度の介護理念を職員が決めました。1Fは「気持ちに寄り添い行動する・笑顔が見られる介護」、2Fは「温かい言葉と優しいスキンシップで安心を心掛ける」と、ユニット毎のご利用者に応じた理念を考えて実践しています。	グループホーム理念の下に、今年度から職員の話し合いで、年間介護理念を各ユニットで決め、実践している。年度末には介護理念の実施評価を行う予定である。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	毎月10日の町内会に、地域の一員として参加させて頂いています。地域住民によるフラダンスのボランティアや、近隣の保育園の運動会に参加したり、園児が来所し、レクリエーション交流も続けています。毎年、法人としては夏祭りを開催し、地域住民やボランティアの方々との交流をしています。	町内会に加入し、地域清掃に協力している。近隣の保育園と交流し、地域ボランティアが来所し、フラダンスを披露している。また、隣接する法人施設と開催される夏祭りには、地域住民が多数参加し、利用者とは交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	夏祭りなどで、法人による相談の窓口を設けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ご家族様や町内会の代表・訪問看護員・鍼灸師など、様々な人に参加していただき、現在の状況や事故の報告なども積極的に行っています。また最近の介護に関するニュースについてや、他の職種の方からの話しなども議題に取り入れて、様々な意見を、より質の高いサービスに活かせる様に取り組んでいます。	毎回3名程度の家族や地域住民が参加して、運営推進会議が開催されている。報告事項に対しての質疑応答が行われ、玄関の電子ロック解除について協議し、利用者の安全を優先し、施錠を継続するようにした。	運営推進会議を日曜日に開催し、利用者・家族がレクリエーションをする機会を設けているが、会議への家族参加は増えていない。今後は、会議議事録を送付するなどで、運営推進会議に関心を持って頂き、より多くの家族の参加を期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議には地域包括支援センターの担当者様にはほぼ毎回参加して頂いています。今年度は健康長寿課の方から100歳を迎えられた2名の入居者様に表彰状を贈呈して頂きました。	市介護保険課に、事業所の運営推進会議への出席を要請しているが、まだ参加はない。運営推進会議に出席される地域包括支援センター担当者と意見交換をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束防止に関する研修に参加したりしている。常に、どういう行動が身体拘束に当たるのかを考えながら接しています。ただ、玄関などの扉は防犯上の理由やご家族様からの要望により、電子ロックを使用しています。</p>	<p>毎年行われる法人研修で「身体拘束」について勉強し、外部研修にも参加している。身体拘束に関するマニュアルが整備され、管理者は、ミーティングや介護現場で、身体拘束の事例を説明し、身体拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>身体拘束防止に関する研修に参加したりして、何が虐待に当たるのかを考えています。虐待などを見逃さないためにも、ご利用者の精神状態や身体状態に、職員一人ひとりが気を付けています。また、虐待の疑いがある場合は、速やかに報告するように徹底しています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>必要であれば、関係者と連携して、日常生活支援事業の利用や、成年後見制度の利用を考えています。そのためにも、職員ももっと学んでいきたいと考えています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、約款を納得されるまで説明させて頂いています。その都度、質問・疑問・不安などを聴いて、お応えしております。また、重度化した場合の対応やリスクについても、説明を積極的に行っております。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関エントランスに「提案箱」を設置して、ご家族からの意見を取り入れています。ご利用者・ご家族の意見や要望は職員も含めて熟考して、取り入れるべきものは、なるべく取り入れていけるようにしています。</p>	<p>家族との面会時や運営推進会議日に行われる「利用者・家族レクレーション」に参加された家族から意見を聞いている。玄関に設置されている「提案箱」に提出された、食事に関する意見に対して、対策を協議し、果物の提供回数を増やした。</p>	<p>「提案箱」の意見には、対策を講じ改善したが、記録として残されていない。今後は、苦情・要望の記録を整備することを期待します。家族からの苦情は少ないようであるが、今後は、食事を含む満足度調査を実施するなど、家族の要望を把握し、サービスの向上に取り組んで頂きたい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回、職員の意見や提案ができるミーティングをしています。その場に出た意見や提案は、出来るだけ取組むようにしています。またその都度、職員に声を掛けて、話しやすい環境の整備に努めています。	毎月行われる各ユニット職員会議には、管理者も参加し、職員の意見を聞いている。職員の意見により、利用者が車いすを使用する時間を短縮し、出来るだけ通常の椅子に座って過ごすよう取組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回、職場環境や条件についての希望を聞く面談をしています。またその都度、職員に声を掛けて、話しやすい環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	1年前より実施している、職員のユニット間での異動などにより、個々の技量が上がってきています。また法人内外の様々な研修が月1回以上開催されており、それに参加して、少しずつですがスキルアップしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	隣接するグループホームとの会議を、毎週行っています。その場で意見交換や情報交換など行っています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご利用前より、ご本人様・ご家族様との面談や、担当ケアマネージャー及び施設よりの情報収集を行い、不安なく利用して頂けるように努力しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>当事業所の見学時より、ご家族と面談し、質問や要望になるべく応えられるようにしています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>集めた情報を基に、ケアマネージャーや看護師とともに、ご本人にとっての必要な支援を考えています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>自立支援を念頭に置き、過剰な介護は行っていません。職員とご利用者がお互いに「ありがとう」と言える関係を目指しています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族にも積極的に関わりを持って頂けるように、面会や外出なども勧めています。また行事やイベントがある時には、事前に連絡させて頂いています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご友人の面会や、ご家族と共に馴染みの場所に行かれることは歓迎しています。面会時には、お茶やコーヒーをお出しして、ゆっくり話せる時間と空間を、提供させて頂いております。</p>	<p>今まで利用していた美容院や、馴染みの店での食事は、家族に同行して頂いているが、利用者の個別外出として、馴染みの店に行く支援も行っている。知人の訪問時には、お茶・コーヒーを提供して、楽しく話せるように配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日中はなるべく声掛けをして、デイルームにて、他のご利用者と一緒に過ごしてもらるようにしています。また職員が間に入り、ご利用者同士の会話を引き出すようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用後も、ご家族や施設などからの相談などには、出来る限り応えるようにしています。次の利用施設での様子を、伺いに行かせて頂くこともあります。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	可能な限り、ご本人より聴き取りをして、思いや希望等を確認しています。困難な場合には、ご本人の立場に立って検討しています。確認した思いや希望は、なるべくサービス計画書に反映されるように検討しています。	日常の会話から得られた、利用者の「思い・意向」は、ケース記録に記載し、職員間で共有している。必要があれば、思いをケアプランに取り入れ、また、カープの観戦や生け花展鑑賞など、要望はすぐに実現させている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご利用に、これまでの生活歴や生活環境、サービスの利用状況を把握出来るようにしています。また、利用の際に、馴染みの品（衣類・食器・家具など）を持ち込んで頂いています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご利用者の、日々の小さな変化を見逃さないように注意しています。また、そのことを、記録として残すように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人・ご家族に意向確認を行い、ケアマネージャーを中心に、職員・看護師の意見や気づきなども取り入れて、ケアカンファレンスを行っています。その上で、ご本人の出来ること・出来ないことをきちんと把握して、サービス計画書を作成しています。</p>	<p>利用者毎に担当者を決め、ケアプランのモニタリングは担当者が行っている。また、ケアカンファレンスでは、他の職員の意見を聞いて、ケアプランの見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ご利用者の日々の様子を、個別に「ケース記録」に記入しています。それを基に、職員間での情報を共有し、また、次の介護計画に活かせるようにしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人の現在の状態や、ご家族からの新たな要望に対しては、なるべく柔軟に対応するように考えています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣の保育園との交流や、地域の美容室による出張理美容などを行っています。また散歩の時などに、近所の方にお庭の花を見せて頂いたり、切り花を頂くこともあります。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人やご家族の希望があれば、ご利用者からのかかりつけ医や、他の医療機関の受診も可能です。また、その医療機関と往診医が連携していけるようにしています。</p>	<p>利用者と家族の要望で、かかりつけ医を決めている。なお当ホーム協力医が定期的に往診し、利用者の健康状況を把握している。また、必要があれば、協力医が利用者のかかりつけ医と連携し、適切に対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日々のご利用者の体調の変化や異常については、速やかに看護職員に報告し、連携して対応しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご利用者が入院された場合には、その医療機関に状態や必要な情報を伝達し、今後の方針を、ご家族も含めて相談しながら行っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>利用契約時に、重度化した場合や終末期のあり方について、管理者及び看護師から説明させて頂いています。また、利用者がそういった状態になられた時には、再度、意向・方針を伺うようにしています。</p>	<p>利用時に、重度化した際の利用者・家族の要望を聞き、要望があれば看取りを行う方針である。重度化した際には、再度、要望を確認し、医師・家族と相談し方針を決定し、支援を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>急変や、事故発生時の初期対応能力については、徐々に向上してきています。更に日々の業務や研修などで、レベルアップしていきたいと思っています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年1回の消防訓練や防災研修へ職員が参加しています。隣接するグループホームとの連携の確認や、地域住民との協力体制の検討もおこなっています。また、火災報知システムの自動化については検討中です。</p>	<p>消防署立ち合いの下に年1回、消防訓練を行い、毎年、防災訓練に職員が参加している。災害時には、隣接する同一法人施設と連絡を取り合い、協力する体制が整備されている。今後は、地域への協力も要請する予定である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者の自尊心や羞恥心に十分配慮して、声掛けや対応を行っています。特にトイレ・入浴・更衣時には、ちょっとした気配りを大切にしています。	「人格尊重・プライバシー」については、法人の研修で勉強している。排泄介助時にトイレのドアを閉める、入浴時には、肌を露出させないなどに配慮している。また、利用者・職員の個人情報、外部に漏れないよう徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者の意思や想いを尊重しながら、無理強いや、強制をしないように心掛けています。また、職員がご利用者からの回答を誘導してしまわないように、注意しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	いつも職員には、業務よりご利用者を優先して考えるように話しています。そして、ご利用者の一人ひとりに合った対応が出来るように、努力しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には、可能な限りご本人に整容を任せています。また毎月、地域の美容師による散髪や毛染めなどを行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の前にはテーブル拭きをして頂いたり、食事中に音楽を流したり、食後は下膳や食器洗いを手伝って頂いています。また、外出レクなどでは、お好きなものを食べて頂いたりしています。	献立は、予め決まっているが、ホーム行事では、利用者の要望で献立を決め、ホーム独自の食事を提供している。利用者が希望する食事を食べに行く外出レクも実施し、食事を楽しむ工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご利用者一人ひとりに合った食事形態にて、提供させて頂いています。食事量や水分量は毎食記録して、摂取量の少ないときには声掛けを行ったり、代わりの食事などを提供させて頂いております。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケアの声掛けを行っています。十分でないご利用者には、指示や介助をさせて頂いています。また2週間に一度、歯科往診もあります。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日々の記録から排泄の周期などを把握して、早めに声掛けをすることで、失敗や失禁の回数を減らすようにしています。</p>	<p>利用者の排泄パターンを把握し、早めに声かけを行い、トイレ誘導することで、排泄失敗の回数を減らすよう取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘気味のご利用者には、水分摂取の声掛けやホットタオルを使用する等などの対応をしています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>その時の体調などを考慮して、声掛けをさせて頂いています。入浴が嫌いな方や気分が乗らない方に対しても、時間を開けて声掛けを行うなどして、無理強いをしないようにしています。</p>	<p>週2回、入浴するようにし、利用者の要望で時間を決めている。介護度の高い利用者には、特殊浴槽での入浴を行っている。また、同性介護の要望があれば、対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる。</p>	<p>消灯時間は21時になっていますが、そ の時の状況に応じて柔軟に対応して います。また、よく眠れるように、日中 にはなるべくデイルームで、体操やレ クリエーションに参加して頂いていま す。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理解 しており、服薬の支援と症状の変化 の確認に努めている。</p>	<p>薬類は施設で管理しています。服薬時 にはご本人と一緒に、名前と日付など を確認して頂いています。新たに処方 された場合には、副作用などに注意し ています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせ るように、一人ひとりの生活歴や力 を活かした役割、嗜好品、楽しみご と、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>日常的に食器洗いやお盆拭き、洗濯物 を干す、たたむなどのお手伝いをして 頂いています。合唱や風船バレー・ク イズなどのレクリエーションも行って います。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援してい る。</p>	<p>近所の公園に散歩に出掛けたり、個別 の外出レクで、近くのショッピングセ ンターなどで買い物や外食を楽しんで 頂いております。また、ご家族と外出 されることも歓迎しています。</p>	<p>天気の良い日には、近隣の公園に散歩 に行っている。広島城で行われる「菊 花展」には、利用者と一緒に見学に 行っている。買い物や外食、時には カープの試合観戦など、利用者の要望 に対応する個別の外出を実施してい る。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切 さを理解しており、一人ひとりの 希望や力に応じて、お金を所持し たり使えるように支援している。</p>	<p>ご家族からお預かりしているお金を 使って、外出時に食べ物や好きなもの を買われています。ご本人にお金を渡 していただいたり、チケットを持って いただいたりしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご利用者一人ひとりに年賀状を書いて頂いたり、ご家族と電話されたりしています。海外のご家族と、電話でやり取りされる方もいます。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>毎日、朝夕に清掃を行っています。昼間でも暗くならないように、照明にも気を配っています。室温も、その日の気温や天候に合わせて調整しています。天気の良い日には窓を開け、外の空気や風を感じて頂いています。</p>	<p>施設内の明るさには特に注意を払い、昼間でも暗くならないよう、夜間は利用者が不穏にならないように、明るさに配慮している。職員の役割分担を決め、清潔に保つように取り組んでいる。デイルームでは、利用者が自由に過ごせるよう配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テレビを観るときには、椅子に座ったり、新聞を読むときには、ソファに座ったりして、思い々の場所で過ごして頂いています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用時に馴染みの品を持って来て頂いたり、その人の生活歴や状態に配慮して、家具の配置などをするようにしています。好きなポスターなどを、貼られている方もいます。</p>	<p>今まで利用していた家具を持ち込み、利用者手作りの、洋服を着たぬいぐるみ、利用者が大好きなカーブのポスターなどを持参し、居室が快適になるように、それぞれに工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや居室には、案内表示を貼っています。所在がわからなくなっているような時や、困っておられる時には、職員が声掛けをするようにしています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム花咲楼

作成日 平成28年11月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議へのご家族様・地域住民の参加が少ない	当GHの現状を説明し知って頂く。興味を持っていただく。	外部評価結果や運営推進会議の議事録を参加されてないご家族さまに送付する。	次回、運営推進会議後に送付予定(12月)
2	6	苦情の記録を活かして改善点をきちんと説明できていない。	苦情に対する改善点をまとめてそれらを基に今後の運営に活かす。	「苦情処理対応表」の記入・報告の徹底。カンファレンス時に取り上げ職員全体で改善点を検討する。	既に記入・報告の指示については行っている。次回カンファにて検討予定。
3	10	サービス計画書をご家族様がわかりやすいように説明できていない。	なるべく対面にて説明が出来るようにする。ご家族さまにも介護への参加意識を持っていただく。	電話・郵送ではなくなるべく対面での説明が出来るようにご家族様に日時など連絡済み。	来所時、随時説明予定。
4	1	GHの理念に沿っているかの振り返りが必要。	GHの理念を半年後に中間報告、年度末に総括として職員全員で振り返る。	カンファ時に職員全員で省みて、中間報告・総括を記録として残す。	中間報告は次回カンファ時、総括は年度末に行う予定。
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。